

シムラブロス SHIMURAbros

SHIMURAbros はユカ（1976 年生まれ。多摩美術大学卒後、英国セントラル・セント・マーチンズ大学院にて修士号を取得）とケンタロウ（1979 年生まれ。東京工芸大学 映像学科卒）による姉弟ユニットです。平成 21 年度文化庁メディア芸術祭アート部門優秀賞受賞。その後カンヌ及びベルリン国際映画祭での上映をはじめ、日本国内外の美術館で作品の展示を行い、近年では恵比寿映像祭への出品や、NTU CCA Singapore のレジデンスプログラム参加など、活動の場をさらに広げています。2017 年には ArtReview Asia 誌の A Future Greats に選ばれました。平成 26 年度ポーラ美術振興財団在外研究助成を得て拠点をベルリンに移し、現在はオラファー・エリアソンのスタジオに研究員として在籍し活動しています。

ユカ

- 1976 神奈川県横浜市生まれ
- 1999 多摩美術大学美術学部立体デザイン科卒業
東京芸術大学美術教育研究会会員
- 2006 英国セントラル・セント・マーチンズ大学院 映画・舞台芸術学部卒業

ケンタロウ

- 1979 神奈川県横浜市生まれ
- 2003 東京工芸大学芸術学部映像学科卒業

個展

- 2020 「Evacuation」東京画廊+BTAP、東京
- 2018 「Film Without Film 映画なしの映画」ポーラ美術館アトリウムギャラリー、神奈川県
東京画廊+BTAP、北京
- 2015 「Tokyo Story」東京画廊+BTAP、東京
- 2013 「Road to Singapore」シンガポール国立大学美術館、シンガポール
「SHIMURAbros」mercedes-benz-connection、東京
「SHIMURAbros」A4 Contemporary Arts Center、成都、中国
- 2012 「New Art NEXT 2012: Phantasmagoria」横浜クリエイティブ・シティ・センター、神奈川県
- 2010 「DAY FOR NIGHT」Proect-314、モスクワ、ロシア
「映画なしの映画」タカ・イシイギャラリー京都、京都
- 2009 「X-RAYTRAIN/LUMIÈREBROStoSHIMURABROS.」ZAIM、神奈川県
「LYON to YOKOHAMA / LUMIÈRE BROS to SHIMURABROS.」創造空間 9001、神奈川県
「EICON」RAIL、ブレスシア、イタリア
- 2006 「SEKILALA」Galéria 13m3、ブラティスラバ、スロバキア

グループ展

- 2021 「SUSHI— A World in a Grain of Sand」(キュレーター : Xn Office) 東京画廊+BTAP、東京
- 2019 「Migration: Speaking Nearby」アジアカルチャーセンター、光州、韓国
「Sculpture Projects Ping Yao」平遥古城 (旧ディーゼル工場跡地、中国)
「Disappearing Legacies: The World as Forest」(キュレーター : Anna-Sophie Springer & Etienne Turpin) Hermann von Helmholtz Center for Cultural Techniques、フンボルト大学、ベルリン
「New Japan」TSolyanka State Gallery、ロシア
「Pantone」昊美術館、温州市、中国
- 2018 「第10回恵比寿映像祭『インヴィジブル』」東京都写真美術館、日仏会館、ザ・ガーデンルーム、恵比寿ガーデンプレイス センター広場、地域連携各所ほか
「大京都 in 舞鶴」京都府、舞鶴市、福知山市、京田辺市
- 2017 「FESTIVAL OF FUTURE NOWS 2017」Hamburger Bahnhof – Museum für Gegenwart、ベルリン、ドイツ
「The Case of the Osmanthus Flower Jelly」Hessel Museum of Art and CCS Bard Galleries、ニューヨーク、アメリカ
- 2016 「A Figment of Film」Nanyang Technological University、シンガポール
- 2015 「Art+Village+City」カリフォルニア大学バークレー校、カリフォルニア、アメリカ
「TERRADA ART AWARD 2015 入選者展」T-Art Gallery、東京
- 2014 「Object Matters: 概念と素材をめぐる日本の現代表現」多治見市文化工房ギャラリーヴォイス、岐阜
「つくったり考えたり」東京芸術大学美術館、東京
「新・朦朧主義」東京画廊+BTAP、北京；紅專廠現代美術館、広州
「Find ASIA – 横浜で出逢う、アジアの創造の担い手」ヨコハマ創造都市センター(YCC)、神奈川
「六本木アートナイト 2014」六本木ヒルズ、東京
「MEDIA AMBITION TOKYO 2014」六本木ヒルズ、東京
- 2013 「What did you see?: He Qianli and SHIMURA Bros」横浜クリエイティブ・シティ・センター、神奈川
- 2012 「ミクロサロン 2012」東京画廊+BTAP、東京
「Parallel Far East World」A4 Contemporary Arts Center、成都、中国
アートフェア東京 2012 関連企画スペシャル ビデオプログラム「Body Talks? 未知なるカラダ」アクシスギャラリー、東京
「ニューアート展 NEXT 2012 年 動く絵、描かれる時間：ファンタスマゴリア」横浜市民ギャラリー、神奈川
- 2011 「第14回文化庁メディア芸術祭 受賞作品展」国立新美術館、東京
「文化庁メディア芸術祭京都展 (パラレルワールド 京都)」京都芸術センター、京都

- アートフェア東京 2011 関連企画スペシャルビデオプログラム「Body Talks? 未知なるカラダ」アクシス ギャラリー、東京
- 「Creative Fantasia 2011」Vacant、東京
- 「Invisibleness is Visibleness: International Contemporary Art Collection of a Salaryman-Daisuke Miyatsu」台北現代美術館、台北、台湾
- 2010 「Akihisa Hirata × SHIMURABROS.」タカ・イシイギャラリー京都、京都
- 「第 13 回文化庁メディア芸術祭 受賞作品展」国立新美術館、東京
- 「SEKILALA SHIMURABROS.」ヨコハマ・クリエイティブ・シティ・センター、神奈川
- 「BIG IN JAPAN Lion Nathan」The Royal Hall Industries、1000 Pound Bend、シドニー、メルボルン、オーストラリア
- 「手感的妙 : Contemporary airy crafts from Japan to Taiwan」就在藝術空間、台北、台湾
- 2009 「CREAM ヨコハマ国際映像祭 2009」サテライト会場、横浜市立野毛山動物園、神奈川
- 「日常事変: LIVE BY PLAY」ART TAIPEI 2009, 台北世界貿易センター、台北、台湾
- 「日本オーストリア交流年 2009 CODED CULTURES -Exploring Creative Emergences Binational Festival / Austria - Japan 2009」Freiraum quartier 21 at MuseumsQuartier、ウィーン、オーストリア
- 「創造境界のアーティストたち vol.1」ヨコハマ・クリエイティブ・シティセンター、神奈川
- 「101 TOKYO Contemporary Art Fair 2009」AKIBA SQUARE、東京
- 「ZAIM FESTA FINALE - fragments」ZAIM、神奈川
- 「EICON-SHIMURABROS.」タカ・イシイギャラリー京都、京都
- 2008 「BREATHE: The Viridi-anne 2009 s/s パリコレクション」ギャラリー EOF、パリ、フランス
- 「EICON」DEPARTMENTSTORE QUARTIER206、ベルリン、ドイツ
- 「横浜アート & ホームコレクション展」横浜ホームコレクション、神奈川
- 「DESIGNTIDE TOKYO 2008 SHIMURABROS.×EXILIM」東京ミッドタウンホール、東京
- 「エレクトリカル・ファンタジスタ 2008」ZAIM、横浜、神奈川
- 「Nomadology」国立新美術館 SOUVENIR FROM TOKYO、東京
- 2007 「Design Tide in Tokyo 2007」国立競技場、東京
- 2006 「transgenesis」チェコ科学アカデミー、プラハ、チェコ
- 「Gods, Heroes, Man, Chaos」Window Gallery、ロンドン、イギリス
- 「DRABINA JAKUBA-Jacob's Ladder」Cricoteka Theatre、クラクフ、ポーランド
- 「With·Out·With」Robert Sánchez-Camus とのコラボレーション、コクランシアター、ロンドン、イギリス
- 受賞
- 2023 ACC 日本グラント受賞

- 2017 Future Greats, ArtReview
- 2016 NTU CCA シンガポール レジデンスプログラム
- 2015 TERRADA ART AWARD 最優秀賞 受賞
- 2014-15 ポーラ美術振興財団 助成
- 2013 横浜市・成都市 アーティスト・イン・レジデンス交流事業
- 2012 平成 24 年度「メディア芸術 クリエイター育成支援事業」入選
- 2011 「文化庁メディア芸術祭」アート部門審査委員会推薦作品
- 2010 「文化庁メディア芸術祭」アート部門審査委員会推薦作品
- 2009 「文化庁メディア芸術祭」アート部門優秀賞(文部科学大臣賞) 受賞
- 2008 「YOKOHAMA 創造界限コンペ 200」空間創造部門@9001 受賞
横浜トリエンナーレ連動企画公募展「BankART Bank Under 35」入選
- 2005 「ベルリン国際映画祭タレントキャンパス」入選
- 2003 「第 6 回インディーズムービーフェスティバル」総合第 7 位・横浜 上映会グランプリ
- 2002 イメージフォーラム・フェスティバル「ヤングパースペクティブ」入選
- 2000 アップリンク 主宰 映画脚本賞

作品上映／放送

- 2023 “Chasing the Light” Singapore Art Museum (SAM)、The symposium co-organising SAM with the Asia Research、キュレーター: Kenneth Tay、シンガポール
- 2022 “Butterfly Upon a Wheel” 愛知芸術文化センター、愛知県美術館、愛知
- 2010 “SEKILALA” Internationale Kurzfilmtage Oberhausen、International Short Film Festival、Moving Image Archive of Contemporary Art、オーバーハウゼン、ドイツ
“SEKILALA” せんだいメディアテーク、宮城
“SEKILALA” PICA Screen Space、Perth Institute of Contemporary Arts、パース、オーストラリア
- 2007 “SEKILALA” カンヌ国際映画祭 SFC、カンヌ、フランス
- 2006 “SEKILALA” FAMU フェスト、チェコ科学アカデミー、プラハ、チェコ
- 2005 “Ought to do or Ought not to do” The 55th Berlin International Film Festival、Berlinale Talent Campus、ベルリン、ドイツ
“Ought to do or Ought not to do” 日本国内ケーブルテレビネットワークにて放送
- 2002 “Amari-ni(45 minutes)” イメージフォーラム・フェスティバル、東京

コレクション

- 愛知県美術館、愛知
- 宮津大輔コレクション
- シンガポール国立大学、シンガポール
- ポーラ美術館、箱根
- ポーラ青山ビルディング、東京